

国鉄構内営業

中央会報



十月の時刻改正

旅客局営業課補佐

太田

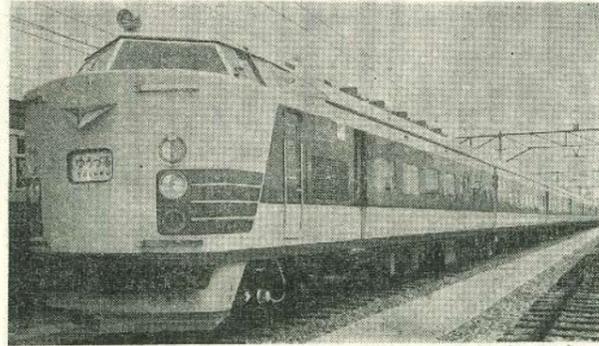
寿



国鉄では、お客さんらしくに楽しい旅行をしていただけるように、第三次長期計画をおし進めていまして、この計画は四十年...

特徴は次の三つです。(1)地域間、都市間を結ぶ幹線の輸送力増強... (2)大幅なスピードアップ... (3)季節なり週末なりの波動に...

時間(〇分運転に、それぞれ大幅なスピードアップになります。(3)季節なり週末なりの波動に...



10月1日東北本線に登場する月光形電車寝台特急「ゆうずる」

好々集中する時期こそ、本当に稼ぐべきなので、波動対策はのような考え方でなされなければならぬので、今回の改正では、列車設定に当たって、思いきった波動対策をとりました。列車の増発も、季節列車や週末列車の増発が大きなウェイトを占めています。

誠意で作る 笑顔で売ろう

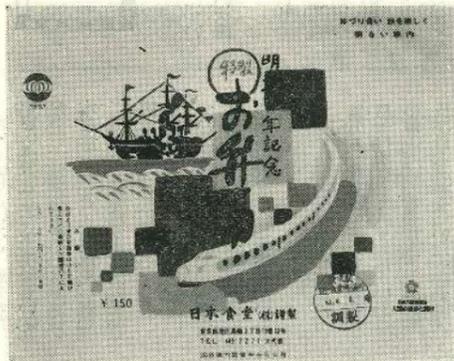


日本食堂

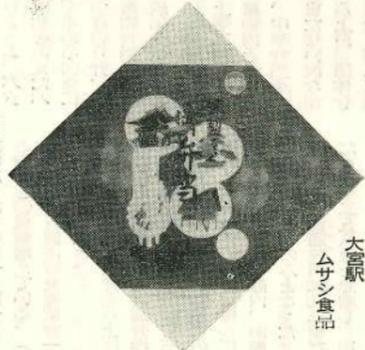


千葉駅 万葉軒

明治百年マーク入り
ラベル紹介 (続)



日本食堂



大船駅 ムサシ食品



小田原駅 東華軒



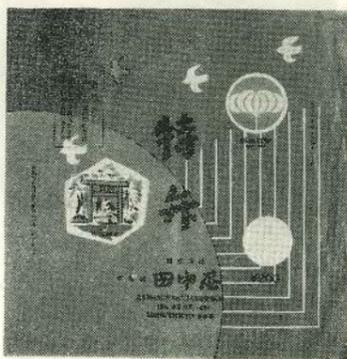
大船駅 大船軒



大船・腰沢 大船軒



日本食堂・函



新橋駅 田中屋

駅弁リレー随筆

駅弁といふは、ホビエラーな弊内弁
当に始まり終るものに私は感じます。
各土地の産物で色とりどりに飾り
季節を感じ
それを向か
ら食べま
と迷いな
ら窓の外
景色を眺
又、食べる
…つい駅
とに食べる
事になりま
す。商売が
ら旅行が多く食いしんぼの私にほう
つづけです。〇〇シリーズといえ
ば、あそこで何弁当を食べようかと、

先人の考えた 生活の知恵 駅 弁



稲尾 和久

何の地酒がおいしいのか、食べられる
ことが無上の幸せですね。
駅弁なるものがあるという事は旅を
たのしく知識も味覚も発達し昔の人が
考えた、すばらしい生活の知恵とい
うものでしょう。

最近、世の中が忙しくなり、陸も
空もマッハの時代で窓からの景色も
「弁当下見」と呼ぶ者も聞かなくな
り、林しく感じます。文化が進むと
いう事は、旅情も人情も喜んでい
いのかどうか、疑問に感じ、又忙し
球場がをさなければいけない商売の
僕達には、時間は貴重でもあつた
から。
シーズンオフ、ローカル線に乗り、
幕内や釜めしと言葉に出し思い切り
食べ、旅をたのしめるプランを今年の
冬も実行するか、又、来年も一人一
人で気分をかき、又、来年も一人一
人の打者との対決をたのしむに、味わ
いのある野球がやれる事でしょう。
(四谷ノイオム投手)

車内お茶出し器 設置計画

九月五日の交通新聞に次のよう
な記事が段見出しで掲載され
た。
国鉄の車内サービス
お茶出し器検討
旅行中に列車内でお茶を飲みた
いと思っても、なかなか手に入
りにくいといった苦情は以前から
なり出ているが、今度国鉄では車
内サービスの改善策のひとつと
してお茶の提供を検討している。お
茶は日本人の生活からは切っても
ない。
切れない存在だが、車窓で駅弁を
買ってお茶のないことが時折あ
つた自由な客が多い。
そこで現準備は行われている
冷水器に代るお茶と冷水と二糖
にサレたお茶を設備を付け、
この面の旅客の不満を解消してい
こうというのが今回計画されてい
る改善のねらいだ。
しかし、新幹線も含めて特急
急行など対象となる車両は約三
〇〇両もあり、一台十八九万円
するの設備を備えるだけでもか
ら、

中央会 指標募集の結果

会報第一八二頁に掲載した
中央会年間指標募集について
は、応募人員五名、同作品二
編を得た。よって七月九日開常
の広報委員会と九月十八日開常
任理事会において選考にかけられ
慎重な審議が行われた結果、選
定ながら今回は、年間指標として
採用するにあつた。当選作を得
られなかった。
しかし、次の佳作五編に対して
は、とくに佳作賞を贈り、応募さ
れた方々の熱意に応え、且つ応募
作品については逐次会報を掲載
するほか、必要に応じて適宜使
用させて頂くこととした。
またこの指標については、さら
に選定方法を検討の上実現を
期したいが、今回応募された方
ご努力に深く敬意を表したい。
(佳作一到着順)
◎誠意で作り 笑顔で売ろう
◎親切は 口から手から 笑顔か
ら
下関駅弁店 監査役
藤田 元一
◎真心が 通して仕事に誇りも
ち
同 職員
原田 義高
◎駅弁で 多きこの味 ほのほ
こと
敦賀駅 刀根荘兵衛商店
二川と
◎明快に 「ハイ」と乗ける お
いしい弁当
金鉄精肉店 高山営業所
垣下 隆子
◎親切は 口から手から 笑顔か
ら
下関駅弁店 監査役
藤田 元一

なりの経費を要するが、これに走
行中に茶の葉を取替えたりする
要員の委託問題等もあるため目下
検討の段階であるが、実施の方針
が決まれば取りあえず来年度新製
の特急、急行など約五〇両に装
置を付けて実現していきたい考え
のようである。
この件については、早速国鉄本
社旅客部にその具体性を尋ねたと
ころ、当面においては目下研究中
のことである。
このようなお茶出し器の設備が
普及されていることは、当会のお
茶の販賣方が旅客サービス上常に
話題になっていることを物語るも
のといえるので、大いに期待でき
る気持もあるが、この計画が実
現される手ればお茶についての
問題も相違解消されることとなる
のではないかと。

お客様には
サービスも、おまかせ
7.8月
真夏の食品に
ごまかい注意を
ゆかいな仕事を
サビレスでお客様の
気持ちも涼しい
もう一個頂戴
売上げ上昇
43年7月3日
国鉄管内営業中会 金鉄支部

9.10月
4310
ヨシサントウ
北陸線が大きな
構内営業が大きな
新設列車
営業マンのスピリットも大きく
4310とともに進む構内営業
あたらしい綿密な営業計画の
お客様あつての構内営業
あたらしい時代のサービス提供
人にも物にもやさしく
従業員が鉄道近代化を形作る
中央会のスピリットも見てもらおう

一日には夏の営業方につき 九月一日にはヨシサントウ新設列車についての右のポスターを管内各店に配布して全従業員の構内営業に対する一層の留意をはかった。

金鉄局主催衛生懇談会
同日

福知山

七月二十五日金鉄局主催による衛生懇談会が開催された。
名鉄衛生試験室から近藤技師、金鉄局から高橋旅客課補佐、中野係長、鶴川職員、業者側は本会委員、弘済会と交通事業社の関係者が参加した。六月十七日から同二十一日に渉り行われた管内衛生検査結果について講評があり、終つて個別店についての注意が行なわれ、構内営業業務に益する大いなるものがあった。

明治二〇〇年の記念品配布
同日

岡山

六月十七日十五時から東条湖湧泉荘において福鉄局有方営業部長、佐賀旅客課長ほか関係の方々のご臨席のもとに標記打合せが開催され、次の議題につき説明を受けた。

1. 昭和四三年度福鉄局基本計画について
2. 昭和四三年度通常衛生検査結果について
3. 昭和四三年度衛生検査について
4. 営業成績報告の報告期日の変更と期日厳守について
5. 特別監査の実施について

六月二十八日十五時から岡山市三好本店で標記の事務打合せが催された。当局からは高尾営業部長、横山旅客課補佐、櫻井同課員の方々のご臨席あり、中央会同鉄支部全委員と夏季における食品衛生について協議された。

井当りお茶等の販売承認
九州

福岡

七月十九日から廿日にかけて、福岡市南の庄において、九州国鉄営業会主催の昭和四十三年度新入社員訓練講座が開催された。受講者は廿七名であつて、講師と内容は次のとおり、

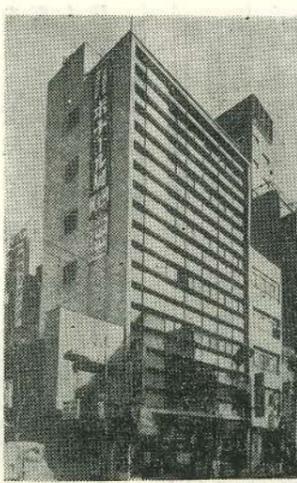
- 一、企業人の使命と心構え
- 二、卓語
- 三、衛生講話
- 四、白屋台同鉄衛生試験室長で

各地の支部総会
前号会報の続

六月廿一日 四国支部総会

（高知市玉環園）
六月廿七日 福鉄支部総会
（東条湖湧泉荘）
七月廿五日 米鉄支部臨時総会
（田原市黒崎旅館）
（議事内容）
一、構内営業承認標準判定について検討
二、食品衛生の管理強化について
三、会員相互間の親睦緊密化について
四、その他

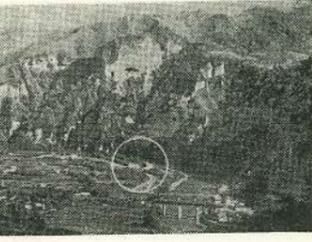
中央会事務所
八重洲口香川ビルへ移転



本会事務所は、までの福本ビルに入つてから六年を経過したが、この間に備品も増えたほか、諸般にわたる会務動上手をせまなつた。そこで理事会、総会を経て移転を決定、本年度の予算にも計上し、その後適宜な場所を捜した結果、福本ビルの向いの香川ビル五階に適當な部屋が見つかり、去る九月十日引越しを完了した。新事務所は、東京駅八重洲北口に近く面積九〇平方メートル、より大分広いので、二〇〇名近い会議ができるようになった。各会員の立ち寄りをお待ちする。



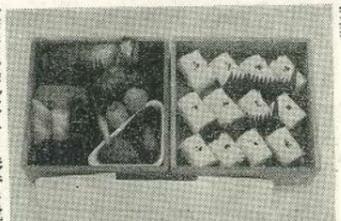
和四十年十月国道西号線立自然公園馬仙峡内に、千円でレストハウスを開業現在に至つて、東東北線光客の観光自動車増加に伴い、今秋、兩日本間（七十畳）の増築を決め、県の近代化資金五



十六日、滝川（元 空知本 旭川）の一番列車となつた丹波号を配し、バックに当時の駅ホームと大雪山系を画したものであり、内容は当時の回想するよう、山菜を主体としたもので、フキ、ワラビ、タケノコ、馬鈴薯、人参、スイートコン、黒マメ、ダイコン、タマゴ焼、青エンドウ、山女魚の甘露煮、エビなどが使われて、レストハウス「馬仙峡」の拡張

百円内借入れ（二年間七七年返還）も決定した。
なお馬仙峡は、直木賞受賞作家喜多川文彦作「馬淵川」を取材した清瀬潤川に臨み、水蝕を受けて多様な変化をみせる大崩崖、その対岸には高さ約二百米もある男神岩、女神岩の二天岩が屹立して、春の新緑、夏の溪流の釣、特に秋の紅葉とすべてが絶えず美観はまことに稀有の景観である。

天皇二家のお買い上げ
九尾のめしと九尾すし
フタバ食品



（皇太子ご夫妻殿下の東海軒お弁当）
歌吉さん、おは上り上野行き電車の窓から投げ捨てられた釜めしの釜が頭に当たり、直ぐ病院に収容されたが骨を折つたうえ、右眼が傷つき、一週間のけがをした。早速釜めしの発売元のフタバ食品の社長と同黒磯営業所長は丁寧なお見舞いを行ったが、幸に全快早く七月に入り黒川さんご自身快気のご挨拶があった。

国鉄宇都宮運輸長室の話によれば、最近車内の弁当やビールのカラ、あきカンなどを窓外に投げ捨てる乗客が多く、このため同室でも食べガラ類は必ず座席の下へ如置し、車外へは絶対投げ捨てないよう強く呼びかけている、と。

熊谷そば株式会社社長交響
同日

六月十四日午後三時半ごろ、東北線黒磯一東那須野間の線路わきで、作業中の国鉄白河保護区黒川

高鉄支部熊谷そば株式会社社長秋山信子氏は七月三十一日最近は大沢千代子氏（熊谷大沢与志松商店主）が社長に新任した。



天橋立駅ホーム売店（分館）一般雑貨は七月一日、同和田山駅構内営業福福家（社長福井博一氏）の同和田山駅前広場、軽食喫茶店が

福井国体行啓の折
お弁当のお買い上げ
東海軒
九月三日皇太子ご夫妻殿下福井国体行啓の際、特に宮内庁から重ねお弁当との伝言により、写真掲載のお弁当を差し上げた。お献立の内容は、本朝味噌焼魚、車えび、鬼瓦焼き、玉子焼き、若どり唐あげ、里芋、蓮、野菜うま煮、きやえんどう、筆生巻、香のもの（わさび漬、紅生巻、奈良漬）、（ご飯（握り二個）であった。
なお、その日に随員用二個も同時に納めた。

営業開始
天橋立駅ホーム売店
和田山駅前広場店舗
福井国体西舞鶴駅構内営業福福家
福鉄支部西舞鶴駅構内営業福福家
軒社長山雄富 郎氏が申請中の（天橋立駅ホームの鶴寿軒売店）

（和田山駅前の福の家）
七月十五日いれ承認となり営業を開始した。
阿部昭三の辞任
本会の嘱託として、昭和二十四年六月以来、保健衛生面を担当する保健所関係の連絡を始め、保健衛生指導に専念せられていた薬学博士阿部昭三氏に、先般健康を害され保養中とのことを七月三十一日付辞職された。多年にわたる努力に対し深甚なる感謝の意を表する次第である。

内ヶ島千乃男氏（長鉄支部松本駅営業者有限会社イイヤヤ軒社長）は、八月十九日午前十一時、脳溢血のため逝去され、九月十日、本葬が行われた。
宇佐美定市氏（天鉄支部中央会会員橋本駅構内営業日の出食堂店主）は九月二日死去、享年八十才。



若葉会

中央会報

第三回定時総会を開く

若葉会の本年度定時総会は七月十日十三時から昨年と同じく東京・水田町のヒルトンホテルで開かれた。

会員の出席者は全国から七八名に上り、来賓として磯崎国鉄副総裁、長瀬常務理事、藤井旅客局事業部長、中央会乃至若葉会側から伊能名誉会長伊能名誉会長岡本顧問、飯沼副会長、松塚常務理事、村上専務理事らを迎え、定刻直前幹事が開会を宣し、木水幹事の音頭で国歌・若葉会ソングの斉唱後、伊能名誉会長の懇篤な挨拶、来賓の紹介があつて秋山幹事を議長に選出議事に入り、大塚幹事の前半度事業報告、豊崎幹事の決算報告を可決、続いて規約の一部である代表幹事、会計幹事、監査の決定方法を幹事会の選出することと、年会費を三千元にすることを改め、新役員を選出すると同時に本年度事業計画と予算一一八万円を決定した。

次に、新旧役員挨拶があり、来賓の祝辞として藤井事業部長から国鉄旅客輸送が転機にあり、とくに十月ダイヤ改正による波動輸送については業界の協力を強く要望された。

また、岡本顧問は機械文明の高度化に伴い人間関係のコミュニケーションにサーブिस提供者と消費者とのそれが重要であることを強調され、飯沼中央会副会長は若葉会が当面に数々の新しい行き方を実践しつつあることに敬意を表され、感謝に閉会した。

〇一九六八年度事業計画

- 一、新しい国鉄とこれからの構内営業の在り方
- 二、国鉄の当否を再考し、業界の現在と未来を考察する
- 三、構内営業関係及びサービス営業関係諸団体との交流
- 四、中央会組織運営並びに各種事業に対する協力
- 五、会員企業の充実、発展のための研究討論
- 六、若葉会員の相互理解と連帯意識の増進
- 七、他店との交流促進
- 八、例会参加意識の向上
- 九、会員相互の親睦を促める

〇新役員 (敬称略)
代表幹事 木村重雄 (高鉄)
豊崎 天 (東鉄)
内田 健一 郎 (米鉄)

やえすノート

中央会が何をなすべきか、何をなすべからぬかという言葉は未だにちよいちよい聞かされる次第であるが、会員の総意でできた定款では、第四条で本会は日本固有鉄道構内営業の施設の整備改善を以て目的とする、会員の技能、資質の向上を期することにより一般旅客に対して最善のサービスを提供することを目的とするとうたつてあり、第五条では六項目にわたつてやるべき事業内容を決めてある。

従つて諸般の会務はこの線に沿つて行なわれることが必要であり、かつ十分といふことにならざる限りは妥協の激しい時期ほど難しいといふべきだ。

何をなすべきかについては、総会、理事会、常任理事会、三委員会、一部会があつて企画や実施を決定しており、何をなすべからぬかについては会長、副会長や全理事が否か否かが決まった事柄を事

務に乘せる責任と権限を持つておられるものと解され、この意味ではこれらの方々のあり方や、やり方が会の方向や成果を大きく左右する。とくに活動者にとってはこの感が深く日々感受せざるを得ない。

しかも、各種の会議がバラバラにあるものでなく総合的有機的に動くことが必要で、この間を調整する用意も執行者として考へねばならない。

また日常活動では思はざる伏兵の現われることも多く、一旦決つたことでもある種の事情から実施することが難しい場合もあり、それを説明し得ない苦境にも見舞われる。現角どういふことが想像を生んだり誤解の種ともなる。

PRという言葉もや日語話となつてはいるが、会議での話題や決つた事柄でも、とてつもない煩悩になつて、そんなことがあつたのですか、という意外な質問を受け

発行所
国鉄構内営業中央会
郵便番号一〇三
東京都中央区八重洲2の5
(番川ビル五階)
電話 (271) 8170・8866

ることも度々である。さうに隣近所のこと聞いてみると案外知られていない。ひいては本人がバスに乗り遅れるということもある。

会報はそんな意味で役に立てない。従つて会議出席者間では解つてはいることも念には念を入れて、たとえダブつても書き上げて

とはいふものの会報の刷新について、広報委員会が活躍を受けて、決まったものは着々実施に移しているが、なかなか事務段階では手間どり勝ちである。これは口頭の問題だけでなく行動を伴うからであらう。

八重洲に変わりはなければ、お隣様をもつて事務所の移転も終つたところで、新しい革袋には新しい酒をといつて、会務のまにまにこんなことも書いてみたいといふのが最初にお断りする本ノートの趣旨である。(村上)